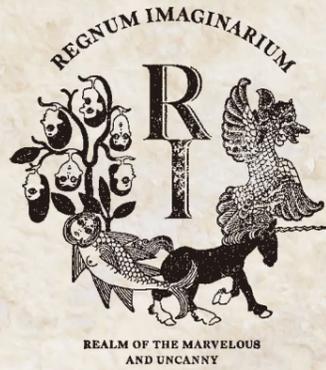


# 九州の驚異と怪異

この展覧会は、絵画や書籍、祭具などをとおして人魚や龍、河童など、想像界の生きものの多様性について紹介し、人間の想像と創造の力の源泉を探るものです。人々は常識や慣習から逸脱した「異」なるものを、どのように認識し、説明し、描いてきたのでしょうか。ここ九州にも、水に潜み、天に羽ばたき、地を巡る、この世のキワにいるかもしれない想像界の生きものが数多く存在しているのです。



## 水



↑人魚の掛け軸 龍宮寺蔵  
龍宮寺(福岡市博多区)に伝わる人魚の掛け軸。伝承によると貞応元(1222)年、博多湾に打ち上げられ、龍宮寺(当時は浮御堂と呼ばれる)に葬られた。かつては縁日の日に同寺に安置されている「人魚の骨」を浸けた水を、延命長寿を願う参拝者に飲ませていたという。



↑河童 松浦一酒造株式会社蔵  
松浦一酒造株式会社(佐賀県伊万里市)に祀られている河童。昭和38(1963)年に母屋の屋根裏にあった「河伯」と記された木箱から発見され、蔵の守り神(水神様)として祀るようになった。近年では子宝のご利益もあるといわれている。  
※本展では写真のみの展示です。



九千坊像 馬場瀬神社蔵 →  
馬場瀬神社(福岡県久留米市)に祀られている河童像。筑後地方には九千の河童が大陸から渡来した後、筑後川に住み着き、さらに各地に散らばったという伝承が残る。九千坊は河童の頭で、同地で河童は水の神として信仰されている。



↑河童の手 個人蔵  
福岡県久留米市に伝わる河童の手。江戸時代中期に馬の尾を掴んで川に引き込まうとした河童の手を、田口長右衛門という侍が切り落としたと伝えられている。



↑豊後国肥田川童図 個人蔵  
寛永年間に豊後国肥田(現大分県日田市)で捕えられた河童の図。頭に乗った皿や指の間の水掻き、亀のような甲羅などが描かれている。日田市など筑後川水系の周辺には河童の伝承が多数残されている。



←平瀬徹斎 『日本山海名物図会』  
福岡市博物館蔵  
日本各地の産物などを図解した江戸時代中期の書籍。「豊後河太郎」では、大分県の川辺で相撲を取る河太郎(河童)たちと、それを見物する河太郎が描かれている。その姿は全身が毛で覆われ、頭頂には皿のようなものがみえる。

## 天



←石造山の神像(複製) 大分県立歴史博物館蔵(原資料は個人蔵)  
大分県竹田市直入町長野地区の山中で祀られていた山の神像。一つ目で大きな口から多くの歯がのぞき、肩から背中が羽根で覆われ、腹の前で鳥の脚のような手を交差させた異形の姿。山を生活の場とする人々にとって、山は異界であり、神の支配する領域と考えられていた。



↑木造天狗坐像・木造八天狗像 国玉神社蔵  
福岡県豊前市と築上郡築上町にまたがる求菩提山に伝わる天狗像。天狗坐像は鼻が高く羽団扇を持って空中を飛行する大天狗、木造八天狗像は鳥のような嘴をもったカラス天狗(小天狗)の姿をしている。求菩提山の天狗は「次郎坊天狗」と呼ばれ、火災を防ぐ火伏せの神として信仰を集めた。



↑天満宮御縁起下巻(部分) 鳥飼八幡宮蔵  
平安時代に平安京・清涼殿で起きた落雷の様子を描いた場面。黒雲とともに恐ろしい形相の真っ赤な雷神が現れ、落雷によって炎があがり、官人たちが転げている。これは左遷先の太宰府で非業の死を遂げた菅原道真の怨霊とされ、それにまつわる「天神伝説」が西日本に多く残る。



↑筑前国宗像郡化物退治図絵 福岡市博物館蔵  
延宝2(1680)年から貞享元(1684)年に筑前国宗像郡本木村(現福岡県福津市)で起こった化物騒動を題材にした絵物語。化物が大勢で本木村を襲い、村人を悩ませていた。最終的には福岡藩三代藩主黒田光行が遣わした犬によって化物の大将が退治された。



←やごろどん 国立民族学博物館蔵  
宮崎県や鹿児島県に伝わる巨人。その出自については諸説あり、大和朝廷に抵抗して征討された隼人の首領であったとも伝えられている。足跡が池や窪地になり、運ぶ途中の土がこぼれて山になったなどと語られている。  
※本展ではやごろどんの下駄と日本刀を展示します。



←東錦画夜競佐賀の怪猫 福岡市博物館蔵  
肥前佐賀藩の鍋島家に起きた騒動を題材にした浮世絵。囲碁で連敗した2代藩主・光茂は対戦相手の又七郎を斬り殺し、又七郎の母はその悲しみを愛猫に語りつて自害した。猫は老婆の血を舐め、城内に忍び込み、藩主の夫人に化けて毎夜光茂を苦しめた。



←牛鬼の手 観音寺蔵  
観音寺(福岡県久留米市)に安置されている牛鬼の手。牛鬼とは牛の頭と鬼の体をもった化け物で、平安時代末期に観音寺の住職だった金光上人が退治した鬼の手だとされている。

## 地

高橋十八度おどり  
みんなく映像民族誌「常ならざる音一耳を通して異界とつながる」より  
ガラッパ踊り、ヨッカパイとも呼ばれる。鹿児島県南さつま市金峰町では、毎年8月22日に水難防止を願う「水神祭り」があり、踊りや子ども相撲が奉納される。祭りの朝、シュロの仮面をかぶった「大ガラッパ」たちが、鉦の音とともに集落内をまわり、出会った子どもたちを追いかける。  
会期中(3.11~5.14)1F 体験学習室(みらいけんラボ)にて上映します

特別展「驚異と怪異——想像界の生きものたち」  
会場:福岡市博物館 特別展示室 会期:2023.3.11~5.14